

1. 入試概要

入試区分 : 教育学部一般選抜（前期日程）
試験実施日 : 令和8年2月25日（水）
合格発表日 : 令和8年3月6日（金）
対象試験科目 : 理科（物理）
対象受験者数 : 23名
（数学領域専攻 : 12名、理科領域専攻 : 9名、技術領域専攻 : 2名）

2. 経緯

外部から理科（物理）問4(d)の解答例に関する問い合わせがあり、検証したところ、解答例に誤りがあることが判明いたしました。これを受けて、当該問題のすべての解答を精査したところ、採点にも誤りがあることが判明いたしました。

また、この精査の過程において、問4(c)の解答例について、採点に影響はないものの、意図が伝わりにくい懸念がある表現が確認されました。

3. 解答例の訂正内容

【対象となる設問】

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/admission/rika-mondai-08.pdf>
理科（物理）問4(d) : 5ページ目下段、問4(c) : 5ページ目中段

【問4(d)の訂正】

<訂正前 解答例>

電流値 : 増加する

【理由】

共振時における回路のインピーダンスは抵抗 R のみに依存する。したがって、 R が小さくなると、インピーダンスも小さくなるため、波形（電流）の振幅が大きくなる。

<訂正後 解答例>

波形 : 変化しない

【理由】

共振時における回路のインピーダンスは抵抗 R のみに依存する。したがって、 R が小さくなると、回路の電流値は増加するが、波形は変化しない。

※ 下線部は、訂正部分を示す。

【問4(c)の訂正】

<訂正前 解答例>

【理由】

…以上の理由により、Ch2 の波形 （電流） の位相は、入力信号 Ch1 の波形 （電圧） の位相より遅れる…

<訂正後 解答例>

【理由】

…以上の理由により、Ch2 の波形の位相は、入力信号 Ch1 の波形の位相より遅れる…

※ 下線部は、訂正部分を示す。

4. 対応

採点に誤りのあった問4(d)について、正しい解答例に基づき、あらためて採点を実施して、合否判定を行いました。その結果、10名の点数が変更されることになりましたが、合否結果には影響がないことを確認いたしました。

また、問4(d)及び問4(c)の解答例を正しいものに訂正してHPに公表いたしました。

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/admission/rika-kaitou-08.pdf>